



ファン・ディエゴ・フローレス

Juan Diego Flórez

PROFILE

「100年に一人のテノール」といわれるオペラ界のビッグ・スター

「銀色の輝きを帯びたやわらかさを伴い、並はずれて美しいだけでなく、時に想像しうるかぎり最も美しい楽器のように響く」—伊「ムジカ」誌。

だが、フローレスの強みはそれだけではない。正確なリズムのもと、声を転がし跳躍させる超人的技巧を軽々とこなす一方、レガートの旋律は感情が深くこめられながら洗練を極めている。だから、難しすぎて埋もれていたオペラの数々も、フローレスが歌うことで日の目をみた。そればかりか、メットやウィーン国立歌劇場、スカラ座など最高峰のオペラハウスが、まさにフローレスのために無名のオペラを上演するリスクをあえて負い、結果的に大成功を収めてきた。

1974年、ペルーのリマに生まれたフローレスは、生地の国立音楽院をへて1993年からフィラデルフィアのカーティス音楽院で学び、いまペーザロのロッシーニ・オペラフェスティバル(ROF)の総裁兼芸術監督である往年の名テノール、エルネスト・バラシオに師事。1996年、代役でROFにデビューしてセンセーショナルな成功を収めると、短期間で一気にオペラ界の頂点に登りつめた。日本でも、ボローニャ歌劇場公演の《セビリアの理髪師》でのめくるめく超絶技巧、《連隊の娘》での煌めく超高音などで、圧倒的な印象を残している。

世界が「100年に一人」と認めたテノールは一番脂がのった年齢に達し、見事に熟した声で《ルチア》や《ウェルテル》など劇的な作品にも挑戦、大喝采を浴びている。その一方で、2018年夏にはROFで《リッチャルドとソライデ》という難曲に挑み、だれにも真似できない超人的技巧を軽々と披露して、満場の大喝采を浴びた。

こうして高みに登りつめたいま、待ち望まれた13年ぶりの来日が実現する。

香原斗志(オペラ評論家)



12月10日(火) 18:00開場・19:00開演
東京オペラシティ コンサートホール ピアノ伴奏公演

チケット料金

S席 ¥28,000 / A席 ¥23,000 / B席 ¥18,000
C席 ¥13,000 / D席 ¥8,000 / E席 ¥5,000 (税込)

12月14日(土) 18:30開場・19:00開演
サントリーホール(大ホール) フルオーケストラ伴奏公演

チケット料金

S席 ¥32,000 / A席 ¥27,000 / B席 ¥21,000
C席 ¥15,000 / D席 ¥9,000 / E席 ¥5,000 (税込)

Tickets チケットのお求めは各プレイガイドまで

チケット発売日 4月22日(月)10:00

■ アーチ・チケット(登録・年会費無料) <http://arch-ent.jp/>

チケット発売日 5月25日(土)10:00

■ 東京オペラシティチケットセンター [電話受付] TEL:03-5353-9999(10:00-18:00)

[カウンター受付] 東京オペラシティビル3F (11:00-19:00) ※定休日:毎週月曜日/全館休館日(8月第1日曜日)

■ サントリーホール [電話受付] TEL:0570-55-0017(10:00-18:00)(オペレーターが対応いたします。)

※休館日/年末年始は休業

■ チケットぴあ TEL:0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>

12/10(火) 東京オペラシティ公演 [Pコード: 148-866]・12/14(土) サントリーホール公演 [Pコード: 148-867]

■ ローソンチケット TEL:0570-084-003 [Lコード: 34591] <https://l-tike.com/>

■ イープラス <https://eplus.jp/>